

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ブリヂストン（証券コード:5108）

【据置】

長期発行体格付	AA+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- (1) タイヤ世界首位で世界シェア 15%程度。海外生産比率が 7 割強であるなど生産の現地化が進んでいる。また原材料内製化の進捗や、リトレッドタイヤ（再生タイヤ）を活用したソリューション事業の展開などサプライチェーンの縦への広がり有しており、安定した事業基盤を確立している。鉱山車両用の超大型ラジアルタイヤでは仏ミシュランと世界シェアを二分している。
- (2) 収益体質の強化が進んでいる。国内外での販売ネットワークの強化、鉱山車両用・低燃費タイヤなど高付加価値商品への注力などが奏功している。大口径タイヤの生産能力増強で高水準の投資が見込まれるが、大型の海外新拠点投資は一巡しており、増加した利益・キャッシュフローにより、中期的に財務構成は緩やかに改善していくと予想される。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 17/12 期営業利益は前期比 6.8%減の 4,190 億円を計上した。タイヤ販売は国内外で堅調に推移したものの、原材料価格上昇の影響を受けた。18/12 期営業利益（会社計画）は同 3.1%増の 4,630 億円の見通し。17/12 期に段階的に進めたタイヤの値上げ効果に加え、高付加価値の大口径タイヤの販売増加により「売値 MIX 数量他」が増益要因になる見通しである。18/12 期に 18 インチ以上のタイヤ販売本数をグローバルで前期比 15%増やす計画である。戦略商品、高付加価値製品に注力する中で「売値 MIX 数量他」の増益効果を拡大していけるか注目している。
- (4) 財務面では 1,500 億円の自己株式取得により、自己資本比率は 16/12 期末 61.5%から 17/12 期末 59.2%に若干悪化したが、依然ネットキャッシュポジションを維持している。海外の販売ネットワーク拡充に注力しており、その動向に注目したい。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

■格付対象

発行体：株式会社ブリヂストン

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA+	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	700 億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年6月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「タイヤ」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ブリヂストン
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル